

自：2023年4月1日～至：2024年3月31日

## ごあいさつ

初夏の日差しが爽やかな季節を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当金庫第101期の決算をご報告申し上げるにあたり、平素のご愛顧とお引き立てに対して、心より厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度の我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな回復が続きました。その一方で、世界的なエネルギー・資源価格の高騰や人手不足、また欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境は厳しさが増しました。

このような状況下、当金庫は、地域事業者への円滑な資金供給に努めるとともに、ゼロゼロ融資の返済本格化に対する資金繰り支援や収益力強化に向けた販路拡大支援、また地域経済活性化に向けた創業・新事業支援等の各種の課題解決支援にも取り組んでまいりました。

当期の業績は、預金は対前期8億36百万円増加し875億75百万円となり、貸出金は対前期19億58百万円増加し258億18百万円となりました。

損益面では、経常収益は貸出金利息、預け金利息、役員取引等収益が増加し、対前期で29百万円増加し8億44百万円となりました。一方、経常費用では物件費の増加等により、対前期で32百万円増加し6億88百万円となりました。この結果、経常利益は1億55百万円となり、法人税等の税金を差し引いた当期純利益は1億31百万円となりました。

また、金融機関の安全性、健全性を示す自己資本比率につきましては、16.24%となり、国内基準4%を大きく上回っております。

令和6年度においては、人口減少や事業所数の減少、慢性的な人手不足やエネルギー・原材料価格の高騰、さらにデジタル技術の進展などによる社会経済環境の複雑化など、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。このような状況下、当金庫も自己変革による変化への対応を図り、職員の活力を更に喚起して、相互扶助の経営理念と協同組織としての特性や強みを生かし、地域社会・経済の持続的な発展に向けて、信用金庫としての役割をさらに発揮してまいります。

おわりに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2024年6月

理事長 松岡文雄

## 貸借対照表

第101期 2024年3月31日現在

単位：千円

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	1,001,945	預金積金	87,575,665
預け金	25,122,127	当座預金	2,113,195
買入金銭債権	74,093	普通預金	30,176,098
有価証券	39,316,284	貯蓄預金	61,283
国債	2,057,840	通知預金	193,919
地方債	1,754,580	定期預金	52,530,170
社債	23,658,112	定期積金	2,431,504
株式	86,796	その他の預金	69,493
その他の証券	11,758,955	借入金	205,000
貸出金	25,818,836	借入金	205,000
割引手形	108,099	その他負債	134,470
手形貸付	1,463,531	未決済為替借	32,867
証書貸付	23,629,272	未払費用	23,850
当座貸越	617,933	給付補填備金	1,258
その他資産	661,772	未払法人税等	11,431
未決済為替貸	29,719	前受収益	4,757
信金中金出資金	505,500	払戻未済金	425
前払費用	832	職員預り金	37,661
未収収益	107,374	リース債務	17,845
その他の資産	18,346	その他の負債	4,372
有形固定資産	743,013	賞与引当金	14,897
建物	242,667	退職給付引当金	70,892
土地	442,891	役員退職慰労引当金	81,601
リース資産	17,845	睡眠預金払戻損失引当金	1,085
その他の有形固定資産	39,609	偶発損失引当金	3,921
無形固定資産	16,880	債務保証	10,729
ソフトウェア	15,508	負債の部合計	88,098,264
その他の無形固定資産	1,371		
繰延税金資産	83,500	出資金	139,011
債務保証見返	10,729	普通出資金	139,011
貸倒引当金	△1,257,421	利益剰余金	5,522,011
(うち個別貸倒引当金)	(△1,105,735)	利益準備金	138,828
		その他利益剰余金	5,383,183
		特別積立金	5,001,000
		(うち事務合理化積立金)	( 80,000)
		(うち改築積立金)	( 230,000)
		当期末処分剰余金	382,183
		会員勘定合計	5,661,023
		その他有価証券評価差額金	△2,167,525
		評価・換算差額等合計	△2,167,525
		純資産の部合計	3,493,497
資産の部合計	91,591,761	負債及び純資産の部合計	91,591,761

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

第101期〔2023年4月1日から  
2024年3月31日まで〕

単位：千円

科 目	金 額
経 常 収 益	844,236
資 金 運 用 収 益	739,712
貸 出 金 利 息	269,569
預 け 金 利 息	89,030
有 価 証 券 利 息 配 当 金	371,438
そ の 他 の 受 入 利 息	9,674
役 務 取 引 等 収 益	70,293
受 入 為 替 手 数 料	33,237
そ の 他 の 役 務 収 益	37,055
そ の 他 業 務 収 益	10,264
国 債 等 債 券 売 却 益	329
そ の 他 の 業 務 収 益	9,935
そ の 他 経 常 収 益	23,965
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	19,649
株 式 等 売 却 益	3,545
そ の 他 の 経 常 収 益	770
経 常 費 用	688,590
資 金 調 達 費 用	16,323
預 金 利 息	15,224
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	253
借 用 金 利 息	667
そ の 他 の 支 払 利 息	178
役 務 取 引 等 費 用	38,779
支 払 為 替 手 数 料	9,377
そ の 他 の 役 務 費 用	29,402
そ の 他 業 務 費 用	357
国 債 等 債 券 売 却 損	332
国 債 等 債 券 償 還 損	24
経 費	630,706
人 件 費	358,221
物 件 費	246,875
税 金	25,610
そ の 他 経 常 費 用	2,423
そ の 他 資 産 償 却	200
そ の 他 の 経 常 費 用	2,223
経 常 利 益	155,645
特 別 利 益	45
固 定 資 産 処 分 益	45
特 別 損 失	0
固 定 資 産 処 分 損	0
税 引 前 当 期 純 利 益	155,691
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	29,371
法 人 税 等 調 整 額	△4,762
法 人 税 等 合 計	24,609
当 期 純 利 益	131,081
繰 越 金（当 期 首 残 高）	251,101
当 期 末 処 分 剩 余 金	382,183

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 剰余金処分計算書

第101期〔2023年4月1日から  
2024年3月31日まで〕

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剩 余 金	382,183,668 円

これを次のとおり処分いたします。

剰 余 金 処 分 額	4,337,003 円
利 益 準 備 金	183,500
普通出資に対する配当金(年3.0%)	4,153,503
繰 越 金（当 期 末 残 高）	377,846,665

以上のとおり報告いたします。

2024年6月

地域社会とともに発展していく  
新 湊 信 用 金 庫

理 事 長 松 岡 文 雄  
常 務 理 事 北 山 誠  
常 勤 理 事 竹 内 俊 尚  
常 勤 理 事 白 田 克 己  
理 事 鷲 北 昭 雄  
理 事 下 保 隆 岳  
理 事 中 野 岳

以上監査の結果適法かつ正確妥当であることを認めます。

常 勤 監 事 長 谷 祐 哲  
監 事 長 谷 川 修 博  
監 事 片 岡 幹 夫

(注) 監事 長谷川 修博は信用金庫法第32条第5項に定める  
員外監事であります。